

## 精神療養(開放)病棟における長期入院者への退院支援の実際

○長野祐子<sup>1)</sup> 中村一恵<sup>1)</sup> 今井佐千子<sup>2)</sup> 太田秀造<sup>3)</sup>

1) 看護師 2) 精神保健福祉士 3) 医師・名誉院長

医療法人耕仁会 札幌太田病院 精神療養(開放)病棟

[目的] 精神疾患の長期入院者に実施した、多職種による退院支援を報告する。

[方法] 精神療養(開放)病棟 57 名中、統合失調症 34 名(59%)、アルコール依存症 11 名(19%)、感情障害 6 名(11%)、その他 6 名(11%)で、入院期間が 5 年以上は 20 名(35%)である(H24 年 3 月末現在)。

当院は S52 年初の共同住宅を設立後、今日では近隣に 110 名の退院者が生活している。病院全体の平均在院日数は 145 日である。長期入院者は病院への依存が強くなり、自助能力の低下、自立生活への不安などを生じる。

さらに中年以降は身体合併症を併発し、退院困難な条件が増える。長期入院者に対し、多職種による『社会復帰支援委員会』を設立した。

具体的には『退院までの 30 段階チェック表』を用い個人の能力を評価し、自己服薬訓練 集団での住居見学ツアー 退院した先輩による説明 デイケア・ナイトケア通所の試行 シルバーボランティア(高齢者への奉仕活動) 多職種から共同住宅を説明 退院者と入院者の交流を実践し、地域に慣れる働きかけを行った。

[結果] H23 年度、開放病棟から合計 58 名が、その内入院期間 5 年以上の者は 3 名が退院した。